

教育開発支援センターからのお知らせ

ラーニング・コモンズで
ラーニングCaféをOPENしています！

教育開発支援センターでは今学期も毎週水曜日に「ラーニングCafé」を開催しています。「ラーニングCafé」は、アカデミックスキルを学ぶミニ講座・ワークショップとして2013年度にスタートしました。以来、リーディングやプレゼンテーション、ノートテイクなどのテーマで開催してきましたが、今学期は、単にスキルを身につけるだけではなく、そのスキルをどのように自分の学びに活かすかを考えるような内容へと、少しずつバージョンアップを図っています。

また今学期は図書館と共催して、図書館ラーニング・コモンズ、ワークショップエリアにおいてラーニングCaféをOPENしています。図書館に開設された新たな学びの空間に、学習支援の息吹を吹き込み、学生たちの主体的な学びのサポートをしております。

10月は佐々木知彦研究員による、速読やクリティカル・リーディング、精読といった、いくつかの読み方を体験することで、自分と読書の関係を考えました。11月は、授業でLA（ラーニング・アシスタント）を務める学部生が担当し、文章要約やグループワークのポイントを学びました。

学生同士で学びあうピアラーニングのスタイルです。12月は岩崎千晶准教授による電子黒板を活用したプレゼンテーションに関するCaféを実施しました。

また「教職ラーニングCafé」も開催しています。教職志望の学生が集まり、教育実習の様子や教職を目指す理由、教育への思いなどについて意見を交換する場です。毎年採用試験に合格した学生が講師としてその経験談を話してくれる場もあります。

3月には卒論を書き終えた4回生が、その体験談を基に下級生らと話し合う「卒論Café」も予定しています。どれも学部の垣根を越えて、気軽に学べる機会です。リピーターの学生さんも見られるようになりましたので、今後もより良い学習支援の場を広げて参ります。ぜひ学生さんに勧めて頂きますようよろしくお願いします。

(教育推進部 佐々木知彦、岩崎千晶)

From
CTL事務局

アクティブ・ラーニングというワードがここ数年で当たり前のように使われるようになりました。

職員として仕事を始めて8年経ちますが、私が学生の頃はゼミを除けば、ほとんどが講義型の授業であったため、初めは『アクティブ・ラーニング』=『グループワーク型の講義』という捉え方をしていました。

しかし、3年ほど前から業務で「コラボレーションコモンズ（2013年4月より凜風館1階に開設）」の準備・運営に関

わっていく中で、ひとえにアクティブ・ラーニングと言っても、グループワークのように複数人意見を出し合う形態もあれば、プレゼンテーションのようにあるテーマについて個人で情報を整理して発表を行う形態などもあり、さまざまな捉え方があることに気づかされました。

現在、関西大学にはアクティブ・ラーニングを支援する施設（ラーニング・コモンズ）が複数あり、学部を問わず多くの学生さんが目的に応じてそれぞれの施設を利用してきています。

凜風館1階に「コラボレーションコ

モンズ」を開設して3年が経過し、初めの頃は『どのように利用したら良いのだろうか?』という学生さんが多かった気がしますが、今は正課・正課外を問わず積極的に活用してくれており、担当者としても非常に嬉しく思っています。

積極的に自分から動くことで、さまざまなことを学べるのが大学だと思います。

自分から動くというのは、なかなか難しいことかもしれませんが、学内にあるラーニング・コモンズが一つのきっかけとなれば幸いです。(裕)



KANSAI
UNIVERSITY

関西大学 教育開発支援センター Kansai University Center for Teaching and Learning

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 TEL: 06-6368-1513 FAX: 06-6368-1514

<http://www.kansai-u.ac.jp/ctl/index.html>

発行日/2015年12月25日 編集・発行/関西大学 教育開発支援センター